

ボクシング

1 期 日	6月3日(金) 総合検診・計量	10時30分～	酒田南高等学校 ボクシング場
	監督会議・組み合わせ抽選	11時45分～	同 上
	開会式	13時～	同 上
	競技開始	13時30分～	同 上
6月4日(土)	検診・計量	8時00分～	
	準決勝	11時00分～	
6月5日(日)	検診・計量	8時00分～	
	決勝	11時00分～	
	閉会式	13時頃予定	

2 会 場 酒田南高等学校ボクシング場(酒田市南千日町4-50)

3 競技規則

- (1) (一社)日本ボクシング連盟競技規則による。
- (2) 階級 男子 ピン級からミドル級までの8階級とする。
女子 ピン級、フライ級、ライト級の3階級とする。

4 競技方法

- (1) 個人選手権とするが、男子は学校対抗も兼ねる。女子は学校対抗はなしとする。
- (2) トーナメント方式で行い、優勝・2位・3位(2名)を決定する。
但し、3位決定戦は行わない。
- (3) 得点規定
 - ① 抽選の不戦勝を除いて1勝毎に勝ち点を1点与える。
 - ② 優勝者には5点、2位には3点、3位には1点を加点する。
 - ③ 途中棄権の場合は、検診を受けた場合にその順位の得点を与える。
- (4) 学校順位決定法
 - ① 個人得点の合計点で決定する。
 - ② 得点と同じ場合は、チャンピオンの数による。
 - ③ ①②が同数の場合は、2位の数による。
 - ④ ①②③が同数の場合は、3位の数による。
 - ⑤ ④で決定できない場合は、同位とする。
 - ⑥ 全日制課程と定時制課程は区別する。

5 参加資格

- (1) 基準要項に準ずる。
- (2) 平成28年度山形県ボクシング連盟に学校登録している学校の生徒であること。
- (3) 平成28年度(一社)日本ボクシング連盟に選手登録済みの生徒であること。
- (4) 選手は本年度の総合健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。総合健診については選手手帳の本年度分「健康診断記録」に必要事項が記載され、医師の署名捺印がされていること。なお、一般診療以外に受診しなければならない総合検診の内容は以下のとおり。
 - ①血液、尿検査は年1回実施していること。
 - ②心電図、レントゲン以下の節目に実施していること。ボクシング開始時、中学、

高校の各入学時。

③CTスキャン（またはMRI）で、頭蓋内病変、及びくも膜のう胞のない証明を選手手帳に明記、または別紙証明書を添付していること。

- (5) 選手は選手手帳を携帯すること。不携帯や記載等に不備がある場合出場させない。なお、記入できるページが2ページ以上あること。（コピー不可）途中で記録欄がなくなった場合は失格となる。表紙に写真を貼付する。新規手帳の場合は前の手帳も合せて携帯する。
- (6) 練習開始後満8ヶ月以上を経過し、予め健康診断を受け校長の出場認知を得た者であること。但し、1年生については出場資格証明書を必ず添付すること。

6 参加制限

- (1) 監督1名のほか参加資格を満たす者で、各階級に各高校2名の申し込みを認める。
- (2) 監督は当該校の教員とし、選手のみでの参加申込みはいかなる場合でも受付けない。

7 参加申込及び宿泊申込基本要項に準ずる。

8 表彰及び上位大会出場枠

- (1) 基準要項に準ずる。
- (2) 全国高校総体出場枠
男子：各階級の優勝者8名。（最終決定は、東北高校選手権大会時に東北連盟が決定）
女子：各階級優勝者1名が東北選手権に進出し、同大会での各階級優勝者3名。
- (3) 東北高校選手権大会出場枠
男子：1部 各階級の優勝者8名 2部 山形県ボクシング連盟が選出した8名。
女子：各階級の優勝者3名

9 連絡事項

- (1) 組合せ
 - ① 競技初日の総合検診・計量で参加可能と証明された選手で監督会議において決定する。
 - ② 申込み人数が各階級とも8名を越えた場合は、1・2部制を採用して組合せを行う。（1部には、県新人大会、斎藤旗選手権大会に出場した者及び3年生を優先的に入れる。）
- (2) 選手点呼を検診計量の10分前に行う。その時点で監督（引率教員）の点呼も行う。監督不在の場合は選手を失格とします。
- (3) 日本連盟通達の頭髪・顎髭について十分に指導しておく。
- (4) 事前に日本連盟に選手登録を行い、選手手帳に写真を貼り、必要事項を記載した選手手帳を携帯すること。不所持者は失格とする。
- (5) セCONDとしてリングに上がる場合、日本連盟役員登録が必要である。